



この日は1日中、全く波のない日。小雨の日は比較的波のない時間が多いのですが、晴れて波がない日はそう多くはない。「海みたいの荒れるんですよ～」といっても全くイメージがつかない真逆の湖。

今年の4月～5月中旬までは、支笏湖の水位が低く、違和感のある感じでしたが、雪解けとともに水位は上がり5月末で、ある程度例年並みに戻りました。

湖畔での休憩も、最初は「広いね」という感じでしたが、日に日に陸が狭くなり「ガイド同士では昨日より明らかに狭いよね」といった話も。

今ではちょうどいい落ち着けるサイズに変わりました。

上写真のように休憩中に湖畔から眺める支笏湖は実に綺麗。湖がとにかく広い。

以前私は洞爺でカヌーガイドをしていましたので、同じような湖畔での休憩も行っていました。洞爺湖は湖畔沿いに1周できる道路があり全体的な雰囲気明るく、オープンで、手軽な感じ。そんな印象です。

それに比べ支笏湖は一周道路はなく、ツアーコースも道路から離れている為、音がなく（人によっては怖いという）ありえないくらい水が透明で（人によっては怖いという）② 雰囲気がちよっと暗く、神秘的なイメージです。

洞爺湖は中心に中島があり、常に視界に入っているのに対して、支笏湖は対岸までなにもありません。そんな景色の違いも広く感じる理由です。

個人的にはどちらも好きな湖なので、乗り比べるといいかもしれません。（私の古巣、洞爺ガイドセンターで洞爺湖でのカヌーツアーを開催しております。）

支笏湖・樽前山・洞爺湖・有珠山・昭和新山・倶多楽湖・登別温泉・定山溪温泉・羊蹄山。これがすべて支笏洞爺国立公園という枠の中に納まっています。道産子から見ても、見所満載のとても面白い地域だと思います。支笏湖でのカヌーツアーだけで終わらせず、色々な所と繋げていくのも面白いかたと感じています。



どこから来たかわかりますか～？という問いかけに遠くの湖畔を指さす。



水温の低い春先の水は「美しい」の一言。相変わらず透明度が高い。



Soto Cafe とお客様の持参した被写体「白熊君」twitter で実況中継する人を最近多く見かけます。



岩間でひと休憩。4月号パワースポットランキングには入れていませんがココもなかなかいい所です！

渡北一か月。支笏湖にも遂に桜がお目見えしました。少しずつ暖かくなってきたものの、桜を見ないことには「春が来た！」と強気になれないのは、日本人の性でしょうか。そんなわけで今年は、東京の桜と合わせて2度の愛でるといふ貴重な経験ができました。何ともおめでたい年ではありませんか

最近では求愛活動に愛しむ鳥たちのさえずりに目を奪われつつ、大好きなカヌーや自転車、湖周辺を漕ぎまわる日々。【漕ぐ】という表現からもわかるとおりこの2つの移動ツールの共通項の多さを感じています。

どっちで漕ぐにも楽しい支笏湖！

